

日中関係打開のヒント

か、中国の対日政策における知日派の役割と自

本書は戦後、周恩来総理のもとで対日業務の責任者を務めた廖承志氏とそのグループの活動を様々な角度から検討した論文集である。中国の対日経済外交において彼らが果たした役割、それを日本側はどう見ていたかなどについて、日・中・台の9名の研究者が分担執筆している。

構成は、第一部が廖承志氏の前半生や日本観、対日業務を行うために集めたいわゆる廖班の形成と展開、対日経済外交と廖承志氏の役割が論述され、華僑の役割にもふれている。

第二部は、その廖班の対日工作の具体的展開やLT貿易協定・廖承志氏の訪日をめぐる中国・日本・台湾の攻防、中でも巻き返しを狙った台湾当局の地下情報活動の様子が明らかにされているのは興味深い。

第三部は、周恩来総理と廖承志氏の関係、この「廖承志時代」をどう理解する

民党親中国派の関係などが記述されている。

付録として廖承志氏に仕えた外交部の丁民、周斌両氏へのインタビューがあ

**『戦後日中関係と廖承志
—中国の知日派と対日政策』**
(王雪萍・慶應義塾大学出版会
・4200円+税)

り、エピソードの紹介から「人間・廖承志」の



岡崎雄兒
東北公益文科大学
非常勤講師

魅力・実像を浮かび上がらせている。

いま、「日中関係は国交正常化後、最悪で両国関係の橋渡しをする政治家や友好人士がいない」などとパイプ役の不在が嘆かれることがあ

る。本書が明らかにした周恩来総理と廖承志氏の強い絆、廖承志氏が指導したグループの活動実態及びその歴史的役割、ここに私たちは現在の日中関係を打開するヒントを見つけることは出来ないだろうか。

外貨名	人民元
100日本円	6.2039
100米ドル	614.31
100香港ドル	79.220
100ユーロ	831.38

(中国人民銀行10月17日発表)

中国の外国為替レート